

## 組織拡大キャラバン行動 まずは労働組合をつくろう

(関東地協)

2012年8月22日 関東地方協議会の各地連・地本で、全自交労連組織拡大キャラバンを実施しました。



8月8日の東京を皮切りに、8月22日埼玉地連が大宮駅東口で第一声を上げ、炎天下の熊谷駅東口に移動し、街宣行動を続け、38度を超える猛暑の中、タクシープールに入構する地元タクシー乗務員に、「全自交労連に加入しよう」と呼びかけました。

関東エリアのタクシー会社の多くは、まだ、労働組合が組織されておらず、

少ない賃金から組合費を捻出するのは厳しいと、現状を訴える声が聞かれました。翌日の23日には千葉地連がJR千葉駅東口で街宣行動を行い、連日の炎天下が老体に効いたのかきつい組織拡大行動となりました。



続く30日には、茨城地連が土浦駅東口に集合。土地柄を考慮して、須澤委員長がマイクを握り、地元ドライバーに現状の厳しさを訴え、「全自交労連に結集しよう」と声をかけました。

今後は現場ごと、各社に訪問するなど、情報交換をしながら、組織拡大行動を展開していきます。



9月5日、全自交労連本部の宣伝カーを使い、群馬地連の柏木委員長と6名の組合員、そして今回は、新しく関東地協から大和田議長、須澤副議長（茨城）根本副議長（埼玉）直井事務局長など6名を加え、合計で13名で行いました。



高崎駅から始め、新前橋駅、前橋駅の順に、それぞれの駅頭で、客待ち待機しているタクシー乗務員に向かい、より良い賃金と労働環境をめざすためには、労働組合を作り、全自交に加入しようと強く、訴えました。